

「避難の権利」集会 in 福岡

福島の子どもたちを守るために具体的な行動を起こしていこう

東京電力福島第一原発事故から1年。

いまだに第一原発からは放射能が漏れ出し、被ばく影響について過小評価されている上に、除染のめどがなかなか立っていません。こうした中、政府は、避難区域の縮小・解除に向けて動いています。

福島市の避難問題の最前線、渡利地区ではいま何が起きているのでしょうか？

とどまっている方、避難された方はどのような状況に置かれているのでしょうか？ 子どもたちを守るために、私たち一人ひとりができることを考えていきましょう。

◆日時：2012年 3月13日(火)
18:30～20:30

◆会場 九州大学医学部百年講堂 中ホール3

◆プログラム



開会あいさつ

福島の今と「避難の権利」

みんなの力で子どもを守ろう！～わたり土湯ぼかぼかプロジェクト

満田夏花／国際環境 NGO FoE Japan

原発事故後一年～福島とともに

宇野朗子／ヒロアクション福島原発40年実行委員長、福島市から避難

原発事故被害者支援のための立法化について

閉会挨拶

◆参加費 500円 ※申込不要

◆主催 国際環境 NGO FoE Japan、FNA(エフナ・アジア開発銀行福岡 NGO フォーラム)

◆協力 みらい実行委員会、放射能市民測定室・九州(Qベク)、みどり福岡

◆問い合わせ FoE Japan 090-6142-1807